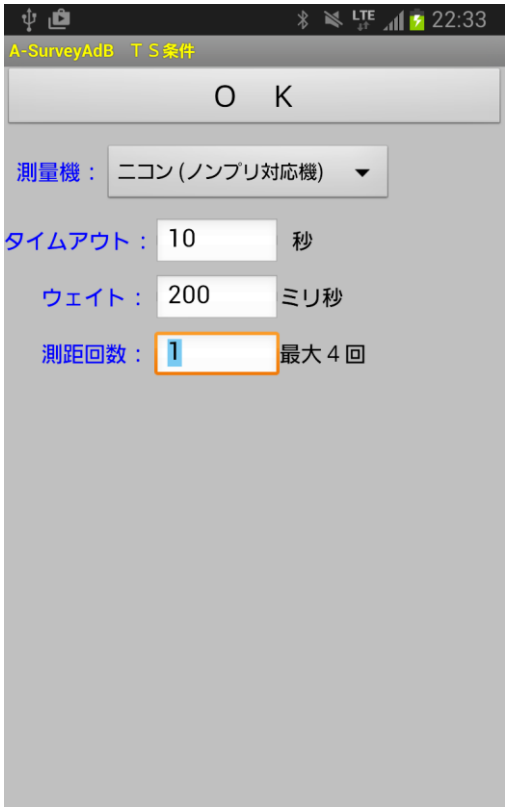
Trimble FOCUS35

「TS 条件」



＜―　ウェイト、２００がお勧めです。

A-AdB から、ゼロセットできます。

A-AdB 3.0.4にてTrimble Robotic 連続測距
機能が追加されています。
3.0.4 の説明書をご覧ください。

タイムアウト：ＴＳの測距に掛かる時間＋αで設定します。
指定時間内に、データを取得できない場合は
“タイムアウトエラー”と案内されます。
原因を解消し、再度測定してください。

ウェイト：ＴＳへの命令を連続で出す場合に、入力時間待って処理します。
500 ミリ秒は、０．５秒になります。

測距回数：距離の測定回数です。座標計算は平均が使用されます。
ＡＰＡファイルや記録簿には、全データが保存されます。